

週刊タバコの正体

タバコが"人びとの健康"を害するのは明らで、「百害あって一利なし」であると認識している人が大勢います。そんな知識を持っている人は、あえてタバコを吸い始めないでしょうが、残念ながら何らか



の事情でタバコを吸い始めてしまい、 ニコチン依存症になってしまった人も 大勢います。ニコチン依存になると毎 日タバコが必要となるので、頻繁にタ バコを購入しなければなりません。

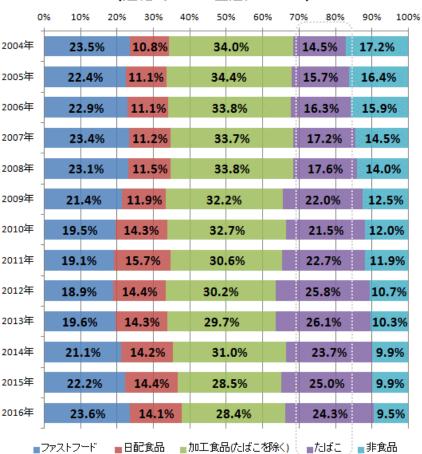
そこで、左の写真を見てください。 ざっと200種類ほどのタバコが、ずらっと並んでいますが、わりと見慣れた 光景です。そうです、どこのコンビニ でもレジ近辺はこんな風になっていますよね。

そして下のグラフにあるように、タバコは近年コンビニの売り上げの25%前後を占めるほどの主力商品なのです。だから、よく目立つところに、多く並べているのでしょうね。

「へ一、そうなんか」と感じるでしょう。でもよく考えてみると、「百害あって一利なし」のタバコが全国どこにでもあるコンビニの主力商品となっているのは、いかがなものでしょうか。

売れる商品を売るのは当然ですが、 タバコを単に"売れる商品"として売り 続けてもいいのでしょうか。"人びとの 健康"も考慮した手立てが必要では ないかと思います。

商品群別売上高構成比率推移 (連結・チェーン全店、ローソン)



ガベージニュースから

産業デザイン科 奥田 恭久

